

中山間地域の地域おこし



担当地域：栃木県佐野市飛駒地区

地域パートナー：佐野市総合政策部政策調整課地域活性化係

グループ指導教員：若園雄志郎先生

11班

コミュニティデザイン学科：大坂下侑 山崎智哉

建築都市デザイン学科：石井蒼士 渡邊貴也

社会基盤デザイン学科：小田部奎介 若林たいら

01 背景

飛駒の現状

飛駒が置かれている状況は芳しくない。少子高齢化、獣害、農地の管理、財政難等、飛駒地区の持続性に多大な負の影響を及ぼす問題が存在する現状において、地域おこしにつながる案及び課題解決案を考察する。

02 目的決定に至る背景

1st cycle (現地訪問と祭りへの参加)

事前調査をもとに聞き取りを実施。飛駒の課題や強みを知る中で、「飛駒八坂神社祭」を紹介され実際に参加することで魅力を実感。祭りを軸に提案を考えていく方針を学生間で決定。

2nd cycle (祭りに関する調査と地域の意向)

祭りに関する調査を進める中で、地域側から「祭りに絞らず、地域が抱える全体的な課題を抽出してほしい」との要望が出る。ここで初めて、学生と地域との間で認識の齟齬が生じていたことを認識。地域おこしの主役は地域に住まうその人である。よって方針転換を行い、地域全体の課題点をもう一度洗い出すと共に、地域のニーズを再発見することを軸に据えた。

05 分析結果

〈ワークショップの成果物〉

課題一覧



状態面	山林の伐採と農地の耕作放棄が進んでいる。中山間地域特有の過疎化や高齢化による課題が顕著にみられる。また、山林の伐採による土砂災害のリスクも懸念されている。	農林面	大規模な伐採が行われており、農地や森林の減少が懸念されている。また、山林の伐採による土砂災害のリスクも懸念されている。
交通面	山林の伐採による道路の陥没や崩壊のリスクも懸念されている。また、農地の耕作放棄による交通の不便も懸念されている。	その他	過疎化や高齢化による課題が顕著にみられる。また、山林の伐採による土砂災害のリスクも懸念されている。

飛駒町の抱える課題を可視化するためにワークショップを実施した。しかし、課題は多岐に渡り現実的に対処不可能な課題が含まれるほか、中心市街地からは認識されない壁があることも分かった。

そのため、現実的な課題解決を念頭に置くほか、中心地サイドとの物理的・情動的距離を解決することを目指し、地域へ向けた提案を行う必要があると感じた。

班員6人それぞれから出たアイデア



〈地域のニーズ〉

現実的 ~~X~~ 持続性 ~~X~~ 体験型

- ・スマホ教室：需要はあるが、中心部のためアクセス不可。飛駒現地開催が求められる。
現実的に大学生が関与
- ・農業体験：小学生向けの**体験**が良い。以前も行っており、協力者も見つかる。
- ・猟師体験：体験自体は難しいが、根古屋森林公園との絡め方が良い。**持続性**のあるプラン。

06 提案

今年度取り組んできて発見された課題・見つけた魅力を元に来年度は、より具体的にしたプロジェクトを考え実行してほしい。地域の方々が「**現実的・持続性がある・体験型**」を大切にしていることがわかったため、それを軸に来年度も地域の方々の声を第一にして実行してほしいと考える。

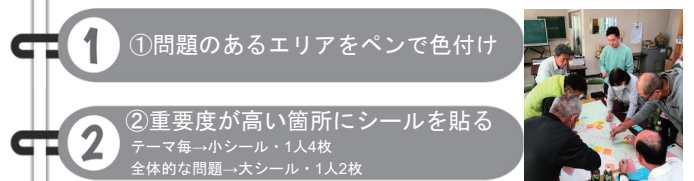
03 目的

飛駒地区では、少子高齢化、獣害、農地の管理、財政難、情報化の遅れ等、解決すべき重要度が高い地域課題が多数存在している。このような状況下で、各分野の地域課題への対策について需要・実現可能性が高い分野を調査し、今後の飛駒地区振興策にある程度の方向性を定め、来年度の演習に貢献する情報を示す。

04 調査方法

(課題発見の取り組み)

飛駒地区の白地図を用いたワークショップを10月に開催



〈班員によるアイデアコンペ〉

